

令和6年度 「第2回千葉県安全性向上プロジェクト委員会」
議事要旨

■日時

令和7年3月19日（水） 10:00～12:00

■場所

千葉国道事務所 202会議室（WEB併用方式）

■出席者（敬称略）

千葉工業大学 創造工学部 教授
千葉県警察本部 交通総務課
千葉県警察本部 交通規制課
一般社団法人千葉県トラック協会
一般社団法人千葉県バス協会
公益財団法人千葉県交通安全協会
一般社団法人千葉県安全運転管理協会
株式会社千葉日報社
千葉県 県土整備部 道路環境課
千葉県 環境生活部 くらし安全推進課
千葉市 建設局 土木部
国土交通省 関東地方整備局 首都国道事務所
国土交通省 関東地方整備局 千葉国道事務所

赤羽 弘和【委員長】
磯野 貴史（代理出席）
湊 朋伸（代理出席）
松平 雄太（代理出席）
成田 斉
鈴木 常浩
小林 経明
早乙女 謙司郎
笠原 雄一（代理出席）
原田 教宏（代理出席）
石黒 栄（代理出席）
高橋 晃浩（代理出席）
開地 宣彰（代理出席）

事務局 国土交通省 関東地方整備局 千葉国道事務所

■議事

(1) 幹線道路の交通安全対策について

○事故危険区間として対策を実施した箇所については、着実に事故の減少を確認しており、事故危険区間も減少傾向にある。更なる交通安全の推進を協力して進めて行きたい。

○幹線道路同士が交差する非常に複雑な交差点について、多くの関係者が一堂に介して議論する道路安全診断は有意義であり、関係者が相互調整して、よりよい安全対策が実現できると良い。

(2) 生活道路の交通安全対策（ゾーン30プラス）について

○生活道路と幹線道路との対策をリンクさせ、幹線道路の渋滞を引き起こさない工夫が重要。

○自治体職員が積極的にビックデータを活用できる体制を整備することが必要。

以上